

問題【国語】

- 問1 2019年の今年の漢字は「令」でした。「令」の付く言葉を三つ挙げましょう。
- 問2 2000年、2012年、2016年は同じ漢字が今年の漢字に選ばれました。その漢字は何だったでしょう。

豆知識 雑学コラム

2019年「今年の漢字」

今年も終わりに近づいて、1年を振り返る時期になりました。振り返るとき、必ず話題に上がるのが、その年にはやった言葉や年を象徴する漢字です。今年2019年の新語・流行語大賞には、ラグビーW杯日本代表のスローガンだった「ONE TEAM」が選ばれ、今年の漢字には「令」が選ばれました。今回は今年の漢字についてみていきましょう。

「令」という字は、上の「人」と「一」の部分は「偉い人のかぶっている冠」を表し、下の「卩」部分が「ひざまずく」ことを表しています。この二つを合わせて、「令」にはもともと「神官のような偉い人がひざまずいて神のお告げを聞く」ことを表す漢字でした。その「神のお告げを聞くこと」から、「令」には「命令」や「法令」の意味が派生しました。19年は「令和元年」ということだけでなく、賃貸アパートの建築法違反の問題や、多くの芸能人の「法令違反」のニュースがありました。こうした意味でも今年の漢字は「令」でぴったりだと言えますね。

しかし、「令和」の「令」は「命令」や「法令」という意味の「令」ではありません。「令和」は万葉集の歌の序文「初春の令月にして、気淑く風和ぎ（初春の美しい月であり、空気は美しく、風は和やかで）」という一節から引用した言葉で、「令」は「素晴らしい」という意味で使われています。「令」には、前述の成り立ちから、「ひざまずいてしまうぐらい素晴らしい」という意味もあるのです。良家の娘さんを表す「令嬢」もこの意味からできた言葉だと聞くとイメージしやすいと思います。

2問目の00年、12年、16年の漢字ですが、答えは「金」です。00年はシドニーオリンピック、12年はロンドンオリンピック、16年はリオデジャネイロオリンピックで、それぞれ金メダルが話題になりました。来年20年は東京オリンピックの年です。日本代表が金メダルをたくさん取って、20年の漢字も「金」になることを期待してしまえますよね。

さて、今回は今年の漢字についてみてきました。実は今年の漢字は日本だけでなく漢字を使っている他の国でも決められています。台湾では「混乱」の「乱」が、マレーシアでは「だます」の「騙」が、19年の漢字として選ばれました。どちらもその漢字を見るだけで大変な一年だったことがわかりますね。皆さんも今年一年を振り返って、自分の19年の漢字を考えてみましょう。

【解答】

「令」・2問

2000年・2012年・2016年・2019年・2020年・令和元年